

第1号様式の別紙1

地域創生総合支援事業（サポート事業）計画（変更計画）書

（※太線内は記入しないでください）

年度	R4	整理番号			提出年月日	令和5年 2月 5日
事業名		〇〇事業				
団体名		（※市町村以外の団体の場合は、組織名簿、団体規約・会則等を添付してください。） 〇〇実行委員会				
代表者	実行委員長〇〇〇〇		連絡責任者	（※代表者と異なる場合は、記載してください。） 普段連絡の取れる担当者氏名		
連絡先		（※電話番号、メールアドレスを記載してください。） 普段連絡の取れる担当者の電話番号とメールアドレスを記載				

1 事業計画の概要

（※該当する枠と事業を丸で囲んでください。） 一般枠（健康課題解決関連事業 ・ 風評対策関連事業 ・ その他）市町村枠 過疎・中山間地域活性化枠（集落等活性化事業 ・ 課題解決実証事業）						
事業期間	令和5年 6月 1日 ～ 令和5年 12月 25日					
事業を実施する理由と目標	（※地域の現状、課題は何でしょうか。事業の実施によって、地域がどのようになることを考えているか記載してください。） （例）〇〇地区では、元々〇〇があった。それを町外の人に周知し、交流人口が増加し、〇〇地区が活性化することを目標とする。					
事業内容	（※誰が、誰を対象に、いつ、どこで、どんな内容の事業を、どの様な方法で行うのかなど、具体的に記載してください。過疎・中山間地域活性化枠（集落等活性化事業）の集落等再生計画策定事業の場合は、検討時期、場所、検討メンバー、テーマなど、計画の検討過程について具体的に記載してください。） （例）（1）時期 令和4年8月20日 （2）場所 〇〇公園 （3）内容 〇〇を周知するため、〇〇を多数展示し、スタンプラリーを行う。参加者には〇〇を提供し、活用してもらう。					
事業費等 （※継続事業の場合、前年度欄は実績額で記載してください。）	補助金の要望（予定）年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	事業費（千円）（a）					
	財源内訳	自己財源（b）	市町村からの補助金	・収支計画書の数字と一致 ・計算が合っているか確認 ・補助金依存率（補助率）を確認		
		サポート事業補助金（c）				
補助金依存率（c/a）		60%	50%	40%		

補助金を要望して実施する年度の事業計画	令和5年度	〇〇スタンプラリー	補助金終了年度以降の事業計画	(※補助金受給終了後、どのような事業を予定し、どのようにして資金を確保しますか。補助の年度だけ事業を実施予定の場合は、その理由を記載してください。)
	令和6年度	・〇〇スタンプラリー ・〇〇を活用したイベント		(例) 〇〇と連携して事業を運営する。また、資金面では、協賛金を確保できるよう関係機関や地域に周知する。
	令和7年度	・補助金終了後も継続可能性がある事業が対象となります。 ・補助金は1年毎の申請、採択が必要ですが、当該年度を含む3年間の計画及び補助金終了年度以降の事業計画を記載してください。		
取得財産	(※不動産及びその従物の取得、50万円以上の機械、器具、その他の備品を購入する場合は記載してください。)			
	財産名	〇〇器具		
	管理方法	(※どこに設置され、どのように使われ、誰が管理しますか。) 〇〇に設置し、〇〇が管理している。		

2 事業の広域性又は先駆性・モデル性(一般枠を申請する場合のみ記載してください。)

(※どのような点で広域性又は先駆性、モデル性がありますか。)

- ・広域性:一部の地域だけではなく、広範囲で効果がある点は何か記載してください
- ・モデル性:他ではまだ実施していない、他のモデルとなる点は何か記載してください

3 事業の効果等

(1) 事業の地域振興上の効果	(※事業の実施によって、地域の経済や文化などにどのような効果があると考えていますか。) (例) 〇〇が広く周知されることで、住民が地域に誇りを持つことができる。また、交流人口が拡大し、地域が活性化する。
(2) 前年度に行った事業の効果と課題	(※継続事業の場合は記載してください。) (例) 前年度は、〇〇の参加者数100人であったが、〇〇との声も寄せられ、〇〇であった。
(3) 前年度より発展的な部分	(※継続事業の場合は、前年度と比べてどういった点が発展しているのか記載してください。) (例) 前年度は〇〇だったが、今年度はそれを拡大して実施する。今年度は新たに〇〇事業を追加して行う。

4 事業の目標達成度を把握するための指標名及び数値

(一般枠、市町村枠を申請する場合のみ記載してください。)

項目	左の目標及び効果を把握するための指標名及び数値
目標の達成度を把握するために適当な数値	指標名 ()
<input type="checkbox"/> 順調に達成された場合の数値	明確に達成度を測れるものを指標としてください。
<input type="checkbox"/> ほぼ順調に達成された場合の数値	(例) イベントに複数回出展する事業の場合 →イベント出展回数は指標になりません。
<input type="checkbox"/> 順調には達成されなかった場合の数値	出展してどうなるかを測れるものが指標になります。 (参加者数、アンケート結果など)